

事業名	赤潮発生状況
予算区分	受託試験研究費(国補)・県単
事業実施期間	(継続事業)
担当者	(環境増養殖担当) 朝田健斗、岡本裕太、池脇義弘、棚田教生
共同研究機関等	

<目的>

令和5年に徳島県沿岸域で発生した赤潮について、公式に記録することを目的とする。

<方法>

漁場環境調査等における観測や漁業者からの聞き取りを元に、赤潮の発生期間、発生海域、赤潮構成種及び漁業被害についてまとめた。

<結果>

表1に令和5年の赤潮発生状況、図1に赤潮発生件数と被害件数の推移、図2に赤潮発生海域をそれぞれ示した。令和5年は、6件の赤潮が発生し、うち1件で漁業被害を伴った。

表1. 令和5年の赤潮発生状況

番号	発生期間	日数	発生海域	赤潮構成種	漁業被害	最高細胞密度 (cells/mL)
1	1/31~2/14	15	板野郡松茂町から小松島市和田島町にかけての沿岸	<i>Eucampia zodiacus</i>	不明	573
2	3/8~3/14	7	鳴門市北灘沿岸	<i>Noctiluca scintillans</i>	無	48
3	6/7~7/6	30	鳴門市ウチノ海	<i>Prorocentrum dentatum</i>	無	4,650
4	6/27~7/4	8	阿南市椿泊湾	<i>Heterosigma akashiwo</i>	無	1,550
5	7/20~8/4	16	鳴門市ウチノ海	<i>Karenia mikimotoi</i>	有	33,817
6	10/13~10/18	6	鳴門市北灘沿岸	<i>Noctiluca scintillans</i>	無	68

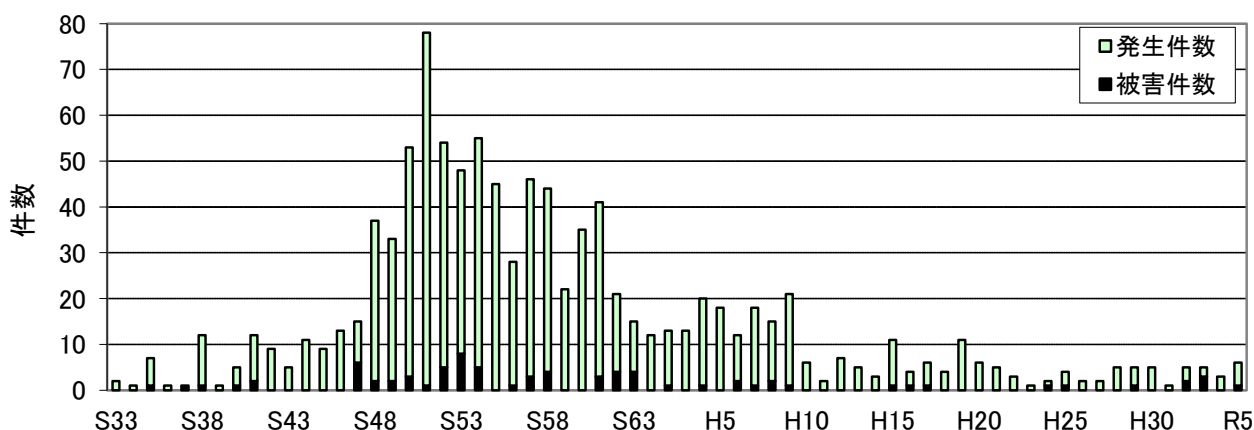


図1. 赤潮の発生件数と被害件数の推移

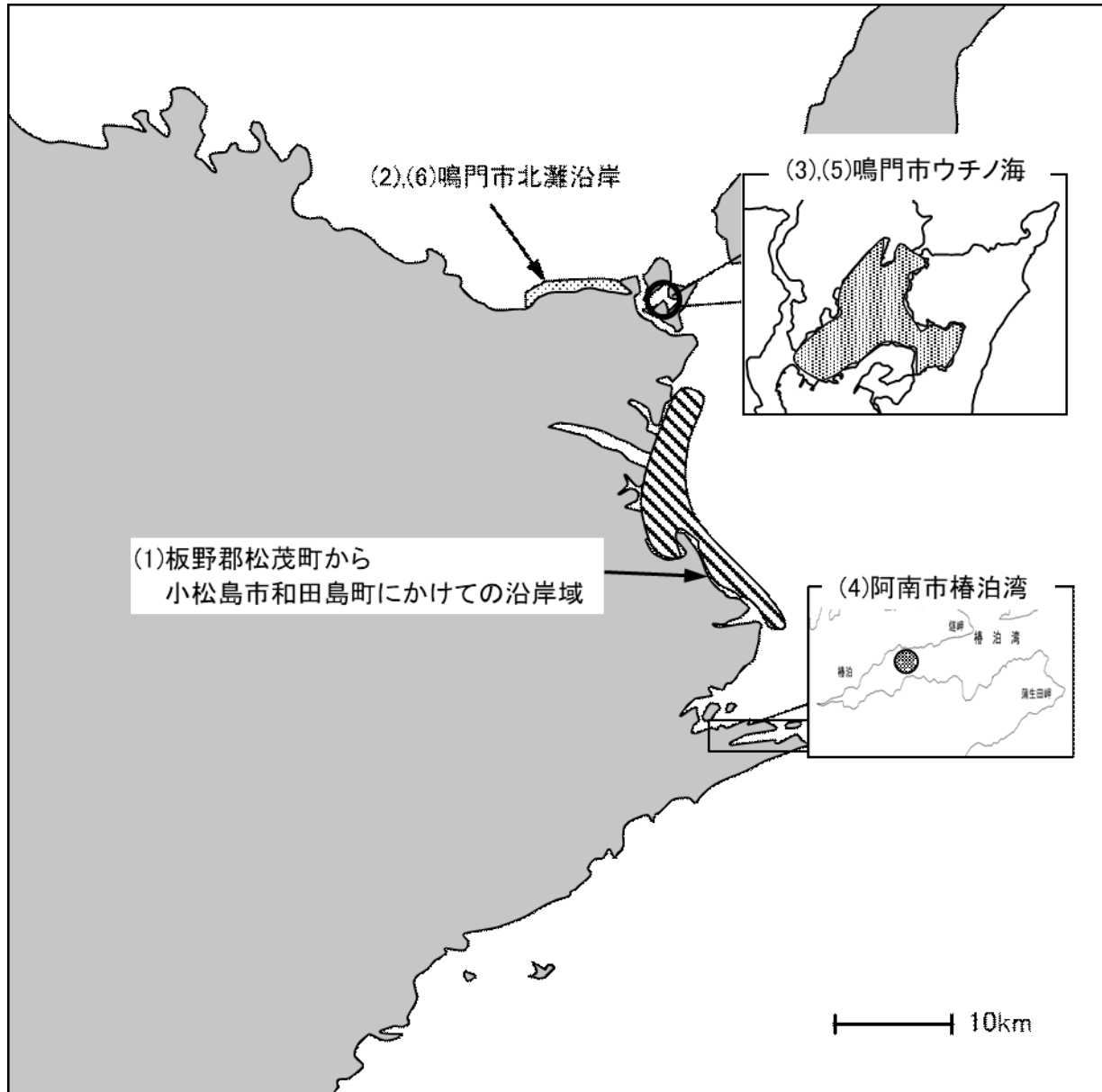


図2. 赤潮発生海域。図中の番号は表1に示した赤潮の番号を示している。

<今後の課題>

特になし。

<次年度の計画>

継続する。

<結果の発表・活用状況等>

得られた知見やデータは水産振興課と情報共有を行い、赤潮情報は水産庁に報告した。